

根暗なTS少女が  
犯されて性格拗れる話

でも僕っっ！

あー



僕はTSした…

ただ…

何も変わらなかった。

日陰ものの僕は結局、  
僕のままだ…

帰ろ…

女の子になってこの  
暗い目つきが変わるだとか…

そんな事を少しだけ、  
期待した事もあった

クラスの皆に興味を  
持たれる事だとか…

けど、結局何も変わらない

この時の僕は、  
そう思っていた。

ガラッ

ガラッ





な、殴られる!!



あ、あの…?

もしかして…  
か、かつあげ…?



は?

お、こりや当たりだぜ  
結構可愛い顔  
してんじゃねえか

か、かわっ!!











待って！待って！  
僕そんなつもりっ！  
ち、違うからああっ！！



何だあおめえ、その割には  
ちいっと濡れてんじゃねえか

ほおーれおちん○ん  
様だぞおー



くさくさ...  
おちん○んの  
先が...  
入って...

くさくさ...  
くさくさ...  
くさくさ...





ハッ、ハッ

えっ……？

これが……僕の声……？

あーん

い、痛いのに……何これ……

へ、変な、こ、声でちゃう……  
それにっ……

何が動かないでだ、  
結構いい声出んじやねえか  
オラアッ！ラアッ



らあっ!



何、いつちよ前に口塞いでんだ  
こういうのはなあ...

痛みと一緒に何かっ...  
き、気持ちいい...?



なっお、お尻叩かれて!!  
僕っっ!!

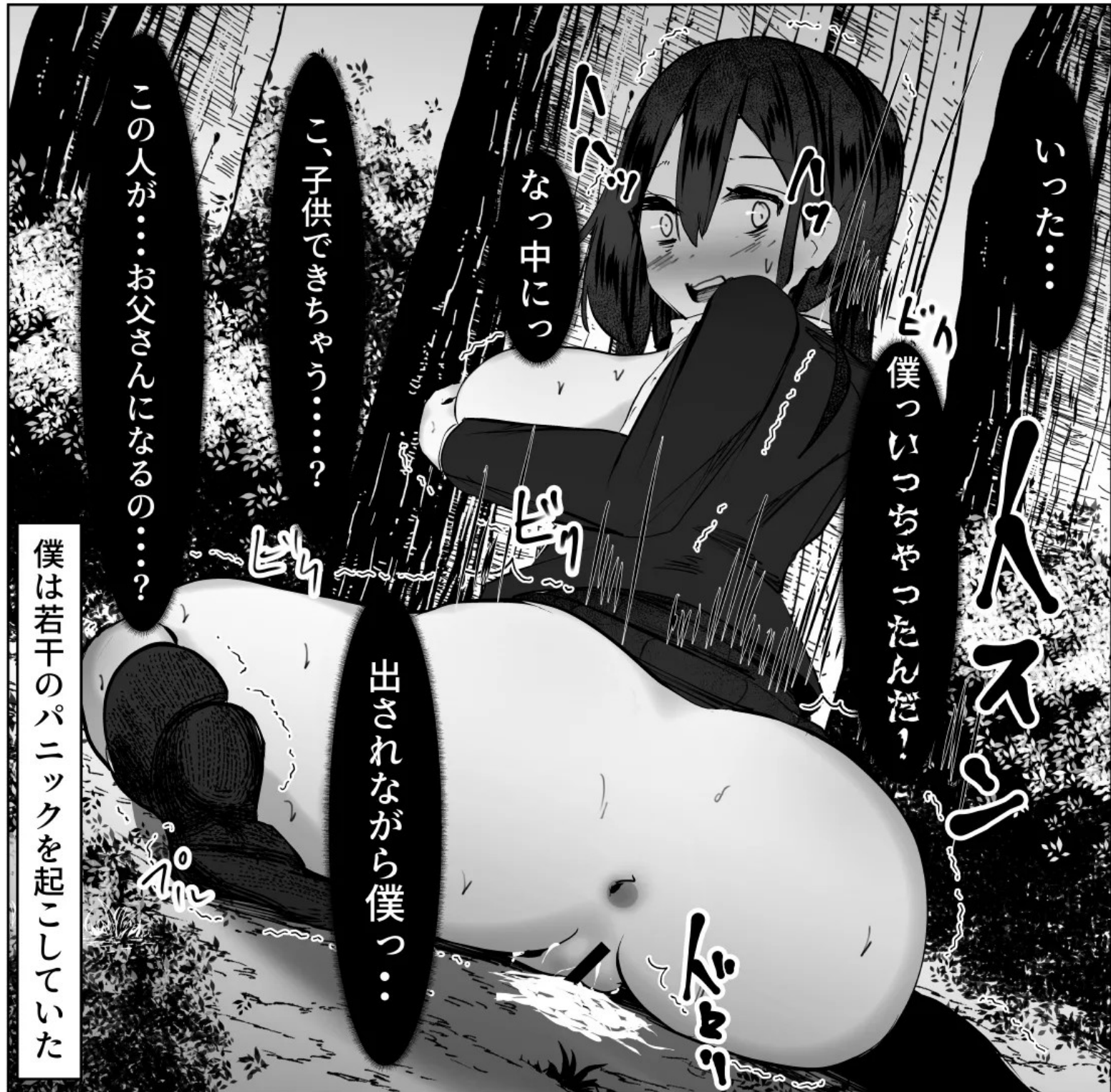
はっはーん、いい声  
でんじゃねえか、へへ

それに締めまりもよくなつてまあ  
何だあてめえドMかあ?









いった…

僕っいつちやったんだ！

人ス

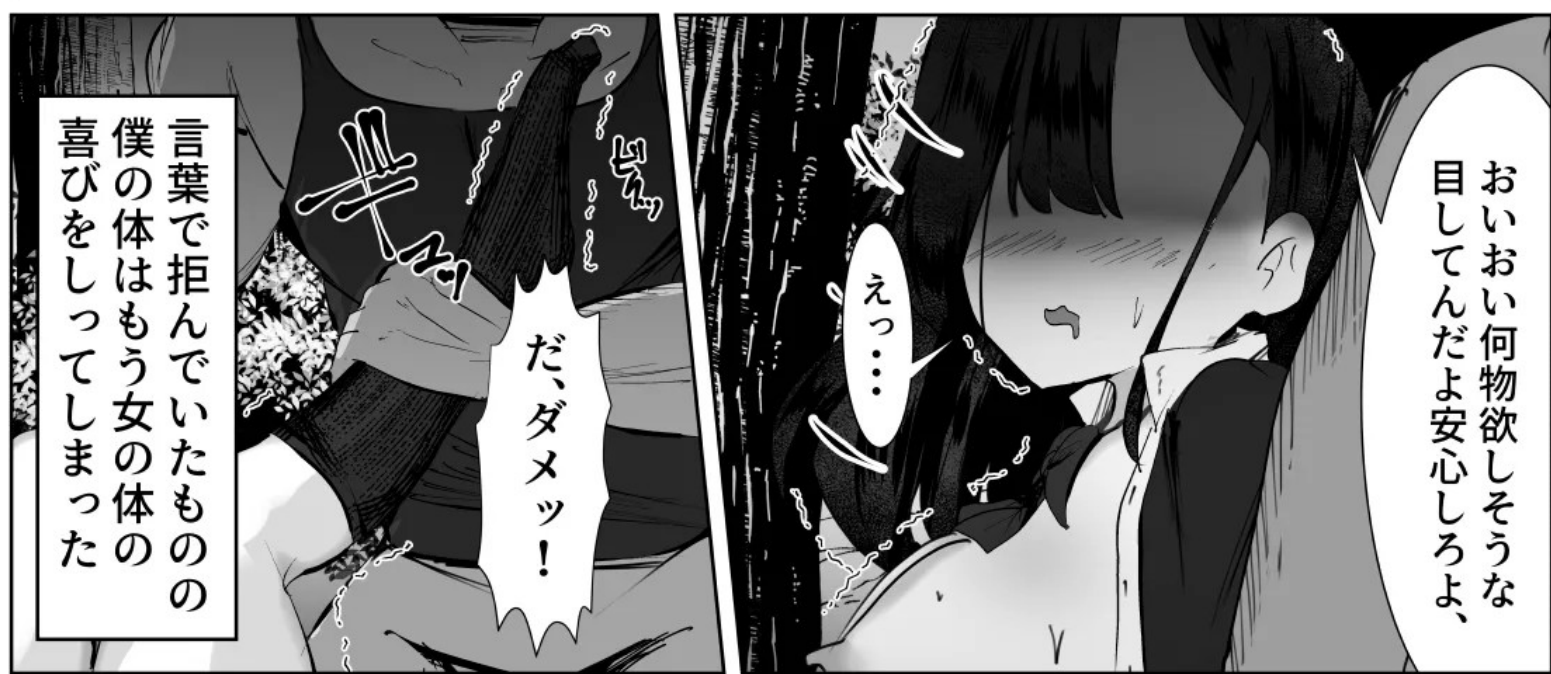
ハハハ  
なっ中につ

出されながら僕っ…

こ、子供できちゃう…？

この人が…お父さんになるの…？

僕は若干のパニックを起こしていた



おいおい何物欲しそうな  
目してんだよ安心しろよ、

えっ…

だ、ダメッ！

言葉で拒んでいたものの  
僕の体はもう女の体の  
喜びをしってしまった



理性では否定していても僕の目は既に  
男のちん〇に釘付けになっていた...



またっ！

あーあ

おい

ちい

バクッ

またおちん○んがつ！！

頭では  
わかってるのに…

きん

きん

僕っ！

初めて女として可愛いって  
言われたから……？

あーん  
あーん  
あーん

おちん○んが気持ちいいから……？

体を無理やり  
貪られてるのに……

あーん  
あーん  
あーん

(僕)私はもう……

この快樂と女としての喜びに

ブル

グ  
グ  
グ

ヌボ  
ヌボ  
ヌボ

あーん

あーん

抗えなくなつてく……





あああ  
ダメッ！ダメッ

はげっ  
激しいよおっ！

僕きちやうっ！  
また来ちやううううっ！

おいおい、何が来るって最初と違って  
偉く下品に喘ぎやがってよお…  
それに…っ



てめえその足はあれか？



まさかおねだりしてる  
つもりか？ええ？

だったら俺より先にいくんじゃ  
ねえぞっ！らあっ！



おおおダメダメッ

おおお

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

こえ我慢できないいいい！



イグッ！

ギッ

イギッ



中に出されるだとか...

僕はもうそんな事は  
どうでもよくなっていた...

あつたかくて気持ちいい感覚を  
ずっと感じていたくなっていた

ただ男はもう満足したのかおもむろに  
立ち上がって、身支度を始めた...

ふうさてそろそろ  
切り合げっか

フキッ

スッ

無意識だった…

おいて…かないで…

あ…

僕は人肌が  
恋しくなっていたの  
かもしれない…

違う…

雌としての僕が  
この男を求めていたの  
かもしれない…

まじかよコイツ…

あークソツ…

男はサイテーではあったが  
クズではなかったようだ…

こんな事で人の温もりなんて  
知りたくなかった。

これも女になった僕だから  
許される事なのかな…

けど…

僕が元々男だった事、今  
彼に伝えたらどんな顔をするんだろう

そう思うとまた、  
少し興奮して来た…

おわり